

平成28年度 第1回みよし市図書館協議会 会議録

| | |
|-----------------|--|
| 日時 | 平成28年6月22日(水) 午後1時30分～午後3時00分 |
| 場所 | ふれあい交流館1階 102会議室 |
| 出席委員 | 会長 梶川恵子 副会長 三井敬子 委員 内田弥生 長山鈴枝 富樫桃代 稲月かよ子 加藤博也 吉川直希 |
| 事務局 | 教育長 今瀬良江 文化振興専門監兼図書館長 深谷幸広 生涯学習推進課長 山崎 正勝 主幹 村山孝文 主査 細川絢史(書記) |
| 傍聴人 | 傍聴人なし |
| 事務局 | みよし市立図書館の管理及び運営に関する規則第5条第2項に基づき 会議成立 |
| 委嘱状交付 | 全委員へ教育長より委嘱状を交付 |
| 教育長あいさつ | 皆さまにとって待ちに待った施設、サンライブがオープンします。 いろいろなご意見をいただき、ティーンズコーナーや生活に関する一 般図書のコーナーも設置し、蔵書数も20万冊から最終的には30万冊 入る図書館になっている。窓口業務も委託とした。なによりもたくさ んの人に利用してもらえる図書館にしていきたい。一日いても楽しめる 図書館であると思う。7月2日には開館記念式典も行われ、松原学 長の講演会も開催する。今後も皆さまの声を聞いて素敵な図書館にし ていきたいと思う。 |
| 会長副会長の選出 事務局 | 図書館規則第4条に基づき、委員の推薦、立候補をお願いする。 |
| 長山委員 | これまでの経験を踏まえ、会長に梶川委員、副会長に三井委員を推 薦する<賛成の拍手多数> |
| 事務局 | 賛成多数により会長に梶川委員、副会長に三井委員を選出 <会長、副会長 座席移動> |

| | |
|----------------|--|
| <p>会長あいさつ</p> | <p>15、6年前からの念願であった新しい図書館がみよし市の複合施設としてオープンする。この間、図書館協議会としてもその時々役割を果たしてきた。市長、教育長はじめ行政の方々のご支援があり建設することができた。ただ、協議会としては建物が「建ったからよし」ではなく、市民の皆さんに愛され、「図書館に行こう」という気持ちになっていただけるよう引き続き協議会としての役割を果たしていきたい。また、オープンに当たっての行事等が本日の議題に上がっている。市民へのPR、広報に問題はないか話をさせていただけたらと思う。</p> |
| <p>副会長あいさつ</p> | <p>念願がかなってようやく図書館が建った。協議会以外にもいろいろな立場で会議にださせていただいた。この複合施設に皆さんが足を運んでいただけるようになればよいと思う。そして、会長のサポートができればと考えている。</p> |
| <p>自己紹介</p> | <p>協議会委員、事務局の自己紹介</p> |
| <p>事務局</p> | <p>それでは、次第に基づき、議事へ移ります。みよし市立図書館の管理及び運営に関する規則第4条第2項に基づき、議事進行は梶川会長にお願いします。</p> |
| <p>梶川会長</p> | <p>議題1について事務局より説明してほしい。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>議題1. 平成27年度図書館実績報告について説明いたします。最初に1ページの面積の訂正をさせていただきます。正しくは32.19k㎡となります。資料1ページをご覧ください。平成27年度の図書館利用状況となります。中央館につきましては開館日数291日、入館者数は78,221新規登録者679人、登録者総数35,384人、レファレンス件数1,438件となります。サンネットにつきましては、開館日数308日、新規登録者498人、レファレンス件数61件となります。利用者等につきましては、中央図書館の貸出人数につきましては個人利用者が33,760人、団体利用者が279団体、相互貸借による利用を含め合計38,097人となります。貸出冊数につきましては、個人利用者の貸出196,739冊、団体利用者の貸出5,813冊、相互貸借の貸出冊数を含め合計202,890冊となります。サンネットの貸出人数につきましては、個人利用者が23,948人、団体利用者が54団体、合計24,002人となります。貸出冊数につきましては、個人利用者が95,725冊、団体利用者が</p> |

637 冊、合計 96,362 冊となります。中央図書館とサンネットの合計総貸出冊数は、299,252 冊となります。続けて 2 ページをご覧ください。こちらは図書館活動の係数となります。市民一人当たりの蔵書冊数が 2.6 冊、市民一人当たりの貸出冊数が 5.0 冊、市民一人当たりの資料購入費が 721 円となります。以下、登録者 1 人当たりの係数を掲載しています。ページ下部の表につきましては、1 ページにてご説明いたしました登録者数、貸出冊数、入館者数の再掲と資料購入費、図書購入費の決算額となります。続けて 3 ページをご覧ください。こちらは月別利用状況の中央図書館分となります。年間の合計をご報告いたします。貸出人数 38,097 人、貸出冊数 202,890 冊、入館者数 78,221 人となります。ページ中段のグラフの通り 7 月 8 月の貸出人数、貸出冊数、入館者数がともに多くなっています。グラフの下は前年度平成 26 年度の数値となります。続けて 4 ページをご覧ください。月別利用状況のサンネット分となります。年間の合計をご報告いたします。貸出人数 24,002 人、貸出冊数 96,362 冊、開館日数 308 日となります。ページ中段のグラフは中央館と同じく 7 月、8 月の貸出人数、貸出冊数が多くなっています。続けて 5 ページをご覧ください。相互貸借の利用状況となります。平成 27 年度の利用についてご説明いたします。愛知県図書館からの借受が 61 冊、貸出が 9 冊、県内の公共図書館からの借受が 165 冊、貸出が 279 冊、県外及び大学などからの借受が 4 冊、貸出が 50 冊、総合計借受 230 冊、貸出 338 冊となります。インターネット蔵書検索利用総数は、536,528 件、資料予約システムの利用件数は、1 日平均 15.9 件となっています。続けて 6 ページをご覧ください。図書館利用状況の推移となります。サンネットは平成 12 年度から開館、移動図書館については平成 16 年度に廃止となっています。平成 27 年度入館者数が 78,221 人、貸出し冊数本館 202,890 冊、サンネット 96,362 冊、合計 299,252 冊となっています。続けて 7 ページをご覧ください。中央図書館の蔵書統計年報となります。資料合計として、購入 5,006 冊、寄贈 323 冊、その他 29 冊で当年末蔵書数は 141,760 冊となります。総合計として当年末蔵書数は 152,084 冊となります。続けて 8 ページをご覧ください。サンネットの蔵書統計年報となります。資料合計として、購入 1,608 冊、寄贈 30 冊、その他 15 冊で当年末蔵書数 13,339 冊となります。総合計として当年末蔵書数は 13,533 冊となります。続けて 9 ページをご覧ください。蔵書冊数集計表となります。中央館とサンネットを含めた総合計は購入 7,969 冊、寄贈 481 冊、その他 66 冊、受入合計 8,516 冊となり、当年末蔵書

| | |
|------|---|
| 梶川会長 | <p>数 165,617 冊となります。</p> <p>議題 1 についてご意見、ご質問があれば質疑をお願いしたい。</p> |
| 梶川会長 | <p>5 ページの相互貸借ですが、県内の図書館に偏っている。今後新しい図書館になったときに、新しい図書館にある本はもとより、全国の図書館から本が提供できることを利用者の方に知ってもらいたい。</p> <p>今 27 年度の実績報告の説明があったが、次の 28 年度の計画の中で新しい図書館の入館者数や貸出し冊数などの目標数値が出ていない。目標とする数値などがあればを教えてください。</p> |
| 事務局 | <p>次の平成 28 年度の計画の中でご説明いたします。</p> |
| 梶川会長 | <p>質疑がなければ次の議題 2 について、事務局より説明してほしい。</p> |
| 事務局 | <p>議題 2. 平成 27 年度図書館事業の概要説明及び事業計画についてご説明いたします。資料の 10 ページの概要をご覧ください。生涯学習推進課は、平成 28 年 7 月オープンの図書館学習交流プラザ「サンライズ」に併せて機構改革により新たに設置された、図書館機能及び生涯学習機能をひとつにまとめたものです。図書館は市民が誰でも自由に学び、文化教養を高めるための施設として身近な公共施設となっています。新図書館では、図書館サービスの充実に向けて、図書、雑誌、データベースなどを整備し、多様化する利用者の要望に応えることができるように努めます。3 の主要事業ですが、中央図書館として 8 項目あります。(2)の「図書館ネットワークの推進」では、引き続きラストワン・プロジェクトへ参加していきます。(4)の「図書館資料の充実」では、雑誌スポンサー制度により、雑誌の充実に努めてまいります。(5)の「読書活動の推進」では、今年度も読書感想文コンクールの実施、図書館バックステージツアー、一日司書体験などのサマースクール事業などを開催します。また、新図書館に併せて、市内中学生以下を対象とした読書ノートの運用を開始します。(6)の「窓口業務の委託化」では、本年度より、窓口等運営業務を委託することで、効率的な運営やより質の高いサービスの提供に努めてまいります。13 ページの中央図書館の年間計画につきましてはご覧のとおりです。図書館講座、読書啓発事業につきましては、この後、その他のところでご説明します。新規事業としましては、開館記念事業として、遠藤栄作品集を発刊してま</p> |

| | |
|-------|--|
| | <p>います。また、読書啓発活動の第3次子ども読書活動推進計画を今年度策定してまいります。以上で事業概要の説明を終わります。</p> |
| 梶川会長 | <p>このことについて質疑をお願いしたい。</p> |
| 三井副会長 | <p>資料の充実の中で雑誌スポンサー制度ですが、雑誌代を本屋にお支払いすることや、広告図案を提出するなど、ハードルが高い。今どれだけスポンサーの申し込みがあるのか、また雑誌スポンサーの申請手続きの変更は考えているのか。</p> |
| 事務局 | <p>今までの申し込みの冊数は23冊です。</p> |
| 三井副会長 | <p>ちなみにどういったものが多いのか。</p> |
| 事務局 | <p>子どもに関するものや住まいに関するもの、経済、環境に関するものが主なものです。</p> |
| 三井副会長 | <p>個々のスポンサーが広告図案を出し発注を行うことになっているのか。</p> |
| 事務局 | <p>雑誌カバーの表面に取り付ける企業名は市で作ります。裏面のスポンサーの広告図案は各スポンサーにて作成しご提出いただいています。雑誌の発注は図書館が一括して行い、雑誌代金の請求がスポンサーに届くようにしています。極力、スポンサーの手を煩わせることがないようにしています。</p> |
| 内田委員 | <p>8番目の学校図書館との連携で、学校図書館の支援は具体的にどのような支援なのか、学校への団体貸出では、学校図書室の資料がとても古くて調べ学習として利用出来ないものがたくさんある。新しい図書館では、調べ学習用の本はまとめて入っているのか。それが学校に貸出しできるのか。</p> |
| 事務局 | <p>ボランティアの支援につきましては、児童サービス担当の職員がおりますので、実際に学校に出向いて読み聞かせの指導などを先生やボランティアの方や授業の一環としても行っています。また、学校支援については毎年6月に学校の図書担当主任の先生に集まっただき</p> |

| | |
|------|---|
| 長山委員 | <p>図書館事業の協力支援について説明させていただいています。</p> |
| 事務局 | <p>新しい図書館には団体貸出用の新しい図書もはいつているのか。</p> |
| 長山委員 | <p>団体貸出専用の図書はありませんが、事前にご連絡をいただければ、100冊を限度にテーマに合った図書を集めて貸出しできる体制を作っています。</p> |
| 事務局 | <p>百科事典などは、どれくらい用意したのか。</p> |
| 内田委員 | <p>同じ本を複数冊購入することは考えていません。百科事典のポプラディアなどは貸出用と館内閲覧用 2 種類用意していますが、学校貸出専用で 5 セット用意することは新図書館でもできません。いろんな種類の資料を用意してその中から調べ学習としてピックアップして 100冊までを学校に貸出します。</p> |
| 教育長 | <p>事典を使った授業もあるわけですが、1セットしかないのに 30 人くらいの生徒が調べるのにかき集めても 2セットしかない。</p> |
| 富樫委員 | <p>どこの学校も国語辞典、漢和辞典など最低限の事典は学級分用意してあるはず。子供たちが同じ事典を使って行えるようにしています。</p> |
| 事務局 | <p>雑誌スポンサー制度の状況と似ているところがありますが、図書館で準備はされているとは思いますが、分かりにくい。学校との連携でも何冊まで借りられるのか、学校の先生も理解していない。周知が足りないと思う。資料については予算が伴うので、小さい学校だと 100冊くらいしか買えないので、相互利用なども考えていくべきだと思う。図書館とサンネットで物流便があるので、その途中で各学校にも寄れるように予算化するなどを検討していただくと学校側は助かると思う。</p> |
| 事務局 | <p>今話が出ました、学校と図書館との行き来の件ですが、長久手市が図書館に学校専用の書庫を作って学校へ本を送って回収することを行っています。職員が 3 から 4 人で対応しているが大変だという話は聞いています。みよし市も将来的に同じようなことができればよいと考</p> |

| | |
|------|---|
| 梶川会長 | <p>えていますが、人件費や図書購入費など高いハードルがあります。</p> <p>学校図書室の資料の充実をお願いしたい。また、学校図書室もボランティアを入れて、より子どもたちが利用出来るようにお願いしたい。</p> |
| 教育長 | <p>学校図書館ボランティアの活動により、児童1人当たり平均50冊くらい借りています。ボランティアのいない学校の登録も行っています。司書の補助員も予算化して増やしていこうと考えています。</p> |
| 事務局 | <p>先ほどの質問の件ですが、新図書館では旧図書館と比較して、入館者が約3倍、貸出し冊数が約2倍を目標に考えています。7月開館ですので、27年度の2倍の入館者、1.5倍の貸出し冊数を見込んでいます。</p> |
| 梶川会長 | <p>質疑が無ければ議題3について、事務局より説明してほしい。</p> |
| 事務局 | <p>議題3. みよし市図書館学習交流プラザ開館記念式典について説明いたします。資料の14ページをご覧ください。7月2日午前9時30分から図書館学習交流プラザ1階情報の道で行います。内容はご覧のとおりです。その後引き続き開館記念講演会を2回研修室兼軽運動室で行います。講師はみよし悠学カレッジ学長の松原武久氏です。テーマは「文化の創造と継承～名古屋城本丸御殿の復元を通して～」です。式典の詳細は、愛称受賞者には表彰、設計、建築業者、工業経済会には感謝状を贈呈します。50万以下の寄付者も紹介と感謝状を贈呈します。後、来賓祝辞、式典の前にみよし少年少女合唱団による合唱を行います。</p> |
| 梶川会長 | <p>この事について、何か意見や質問はあるか。</p> |
| 梶川会長 | <p>感謝状ですが、設計、建築会社とお金を払う業者にも贈呈するのか。</p> |
| 事務局 | <p>慣例として行っています。建築していただいたお礼として贈呈します。</p> |
| 梶川会長 | <p>先日新聞ともに配布されたサンライブの折込チラシですが、生涯学習講座のチラシということですか。</p> |

| | |
|------|---|
| 事務局 | <p>チラシにつきましては年 3 回出しています。今年度は、サマースクールも含めて年 4 回となっています。今回はサマースクールの募集の予算を使って、このチラシを作成しました。たまたま 7 月 2 日がサンライブのオープンでしたのでこのようなチラシとなりました。</p> |
| 梶川会長 | <p>市の予算を使い、オープン前の時期に配布されるチラシなので図書館を含めた広報として作成する方法があったかと思う。生涯学習推進課としてサンライブ全体についてのチラシができなかったのか。</p> |
| 事務局 | <p>サンライブの機能については、ホームページと広報を使って特集で周知しています。こちらのチラシは、生涯学習講座のオープンから一週間のイベントを皆さんに周知を行うためのものです。</p> |
| 梶川会長 | <p>オープンする複合施設は、生涯学習と図書館の二つの機能があるということを紹介し掲載する調整は行わなかったのか。</p> |
| 事務局 | <p>調整はしていません。こちらは悠学カレッジ事業の予算で作成したものです。</p> |
| 梶川会長 | <p>今回のサンライブは一つの建物の中に二つの機能が入る。市民としてはどのような施設、機能なのか知りたいはずなので、今後はしっかりと調整検討してほしい。</p> <p>次に 6 月 15 日号の広報についていえば、部屋のレイアウトと番号を照らし合わせて見る必要がある。例えば、図書館では、「おはなしのへや」や「読書テラス」が新しくできるが、そういった情報が載っていない。もっと市民目線で、せめて図書館の部分は色を塗るとか、もっと情報を工夫して載せることができなかったのか。</p> <p>元々 15 年前に図書館のあり方研究会ができ、新しい図書館を建設する構想で計画が進められてきた。その後基本構想、基本設計の協議会ができ、図書館だけでなく生涯学習機能を持つ複合施設となった。図書館のことだけをいうつもりはないが、0 歳から 100 歳以上の住民が利用する施設となる。もう少し市民向けの情報発信があってもよいのではないか。</p> |
| 長山委員 | <p>この折込チラシには図書館の特色や開館記念事業として開催する講演会のこと載っていない。これではサンライブのチラシではなく、</p> |

| | |
|------|---|
| 梶川会長 | <p>文化教室のチラシと同じではないか。両方の機能を上手に PR ができるような折込チラシを今後は作っていただきたい。</p> <p>今日出た意見を今後参考にさせていただき、複合施設として市民に向けた発想の元にチラシを作っていただきたい。例えば、朝日新聞朝刊平成 28 年 6 月 21 日 25 面では 118 文字と写真できちんと紹介をしている。掲載スペースの問題ではなく、情報発信の仕方や内容が大事である。今後は館内パンフレットの充実も併せてお願いしたい。</p> |
| 長山委員 | <p>長谷川義史氏の講演会は先着 100 名となっている。申込みの電話をかけてもつながらない。もっとよい方法はなかったのか。</p> |
| 事務局 | <p>先着 100 人ですが、研修室兼軽運動室は 130 人まで入れます。申し込み状況を見ながら受付をしています。また、家族の分の受付は可能ですが、友達の分まで受付を可とするかは今後の検討課題です。</p> |
| 梶川会長 | <p>質疑が無ければ議題 4 のその他について、事務局より説明してほしい。</p> |
| 事務局 | <p>16 ページのみよし市立中央図書館読書啓発事業をご覧ください。追加資料もご用意しましたので、適宜そちらもご覧ください。長谷川義史氏の開館記念講演会ですが、定員 100 名、日にちは 7 月 30 日、2 階の研修室兼軽運動室で開催します。次に 11 月 13 日も同じく研修室兼軽運動室で定員 100 名にて講演会を予定しています。続いて読書啓発事業として、夏のこわ〜いお話講座ⅠからⅢを開催します。Ⅰはストーリーテリングで 8 月 27 日、対象小学生、定員 24 名、多目的室で開催します。Ⅱは近代文学講座で 9 月 1 日、対象一般、定員 24 名、多目的室で開催します。Ⅲはストーリーテリングで 9 月 11 日、対象一般、定員 50 名で講座室兼音楽室にて開催します。続いてティーンズコーナー開設記念講演会ですが、追加資料の 2 ページに記載してある通り、講師、アーサー・ビナード、12 月 18 日開催、対象中学生以上、定員 100 名、場所は研修室兼軽運動室、タイトルは「世界のなかで日本語はどこまで広がるのか？」で開催します。1 月 29 日は対象どなたでも、定員 100 名で「びっくり箱」が人形劇を行います。後、内容は未定ですが、児童文学講座と音訳ボランティア養成講座も今年度予定しています。次に長谷川義史氏の講演会ですが、先ほどご説明したとおりで</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>す。申込みが7月5日からとなっています。</p> <p>次に子ども図書館サマースクール実施要項案ですが、昨年度、小学生を対象に実施していました一日司書を今回リニューアルして開催するものです。これまで各学校に依頼していたものを広報で募集するものです。実施日は8月18日が4年生を対処とし、19日が5年生を対象とし、20日が6年生を対象とし、午前と午後2回実施するので、各回6名、各日12名、3日間の合計36名の定員で実施します。内容は今まで一日司書としてカウンター業務本の配架が中心でしたが、図書館機能を含めたバックステージの見学も実施するものとなっています。</p> <p>続いて、読書感想文コンクール実施要項案ですが、昨年同様各学校から読書感想文を選考していただき、最優秀、優秀、佳作を図書館へ提出していただき、表彰、最優秀作品集を作成するものです。</p> <p>20ページからは先進地視察の資料となります。今回ご提案するのは岐阜県の岐阜市図書館です。1階にコンビニが出店し、文化創造の複合施設となっています。2階が図書館で書架の配置に特徴のある図書館となっています。書架が円形に配置され、書架自体がコンクリート製となっています。また、1階には一般の人が入れる開放型の閉架書庫があり図書館の特徴となっています。日程につきましては、今後相談させていただきたいと思います。</p> |
| 事務局 | <p>補足ですが、例年先進地視察を7月に行っていますが、サンライズが7月2日オープンですので10月頃に行いたいと思っています。</p> <p>なお、例年10月は図書館協議会を開催し、次年度の計画を提案していただいています。10月の午前中に岐阜市図書館を視察し、みよし市に戻り次第、図書館協議会を開催したいと思っています。本年度は、子ども読書活動推進計画の策定の年でもありますので、皆様からご意見をいただきたいと思っています。そして最終決定を1月か2月に行いたいと思っていますが、いかがでしょうか。</p> |
| 梶川会長 | <p>この事について、何か意見や質問はあるか。</p> |
| 長山委員 | <p>確認ですが、長谷川義史氏の講演会の子どもの年齢の確認ではなく学年を確認するよう変更してほしい。また、ストーリーテリングの講座は小学生が対象ということで間違いはないか。また、なぜ講師を下澤先生にしなかったのか。断られたのか。</p> |

| | |
|------|--|
| 内田委員 | 長谷川先生の講演会は既に広報で電話または直接と載っている。 |
| 事務局 | 窓口に直接でも大丈夫です。 講師の先生について、今年は梅村先生にお願いしています。 |
| 長山委員 | ストーリーテリングの第一人者の下澤先生を差し置いて別の講師をお呼びするのはいかがなものか。 |
| 事務局 | 梅村先生も以前から、ストーリーテリングの講師を行っていただいています。また、今回はこわい話ということで、梅村先生にお願いしています。 |
| 内田委員 | 小学生向けのストーリーテリングでしたら梅村先生の方が向いていると思います。 |
| 梶川会長 | その他(2)の次回日程についていかがですか。 |
| 事務局 | まだ、岐阜市図書館に連絡を取っていませんので、調整して皆さんにお知らせいたします。 |
| 長山委員 | サンライブのパンフレットは既にできているのですか。 |
| 事務局 | まだ作成中です。現在、校正をしているところです。 |
| 長山委員 | チラシとかは新聞折込でなく広報と一緒に配るようにしていただきたい。 |
| 梶川会長 | これで本日の協議会を終了する。 (午後3時00分) |